

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度		
施設名	秋田港セリオンリスト及びイベント広場等	設置年	平成 7 年
所在地	秋田市土崎港西1丁目9-2		
指定管理者	株式会社秋田東北ダイケン		
県所管課	港湾空港	課 調整・クルーズ・空港	チーム

1 施設の概要

設置目的	秋田港の利用促進を図り、ゆとりある県民生活の実現に寄与するため。					
県の施策上の 施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標					
	なし					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための 取組として施設に求められているもの					
	なし					
施設の面積	2,304㎡					
主な設置施設	ガラス張り緑地、イベント広場、駐車場					
指定管理業務の内容	料金制	有（完全利用料金制）				
	料金設定	うどん・そば自動販売機1杯350円				
	サウンディング実施対象施設※	×				
	指定期間	R2.4.1		～	R7.3.31	
	営業期間・時間	通年9:00～18:00（11月～3月 17:00閉館）				
	・使用の許可、取り消し等の義務 ・維持管理、運営に関する義務 ・利用促進に関する義務 ※秋田市指定管理施設（セリオン及び秋田港振興センター）と一体的な管理					
	自主事業の内容	平成28年度から運用を開始した「うどんそば自販機」や「吉田輝星投手特別 ブース」は人気が継続しており、賑わい創出に繋がっている。「フリーマーケット」 や「コスプレイベント」を実施し、「秋田県道の駅物産展」等のイベント誘致なども 継続して行った。				
直近3年の年間利用者数	R4	181,203 人	R5	348,255 人	R6	360,609 人
直近3年の年間利用収入	R4	2,225 千円	R5	2,560 千円	R6	2,439 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6
収入 計		9,292	10,642	13,388	12,868	14,486
利用料金収入		1,720	1,879	2,225	2,560	2,439
指定管理料						
その他収入		7,572	8,763	11,163	10,308	12,047
支出 計		10,495	11,480	13,563	13,049	14,792
人件費		901	901	901	901	901
光熱水費		993	1,044	1,287	1,192	1,286
修繕費		13	2	299	32	0
外部委託費		2,209	2,209	2,337	2,335	2,514
その他経費		6,379	7,324	8,739	8,589	10,091
差 引		▲ 1,203	▲ 838	▲ 175	▲ 181	▲ 306

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

＜観点Ⅰ＞ 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

- 秋田港の利用促進を図るため、本施設の利用促進に取り組む。
- 県民のゆとりある生活に寄与するため、県民を対象としたイベントを開催する。

○目標の設定（毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標）

令和6年度 の目標	利用者数 350,000人
--------------	---------------

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	実績	360,609	達成率	103.0%	
	具体的な 取組と その効果	セリオンリスタのイベント予約やそれに伴う来館が増え、集客につながった。また、クルーズ船の秋田港への寄港回数が増加したことで、先客やクルーズ船の観客の増加が利用者の増加につながった。			
直近3年 の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標	260,000	250,000	270,000	
	実績	138,364	181,203	348,255	
	達成率	53.2%	72.5%	129.0%	
令和7年度 の目標 (設定根拠)	目標	利用者数 380,000人			
	設定根拠	クルーズ船の寄港数がR6年度と比較し増加であることから、R7年度は利用者数が多く見込まれると考えR6年度の105%程度とした。			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

＜観点Ⅰ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	自主事業の実施やイベント誘致、クルーズ船寄港の増加に伴い、積極的な情報発信を行うことで、利用者数が大幅に増加し、昨年度の103.5%程の来館者となった。
	県 (所管課)	A	目標を上回る利用者数を達成した。クルーズ船寄港情報を発信するなど、港一体的な情報発信を行うことで、みなとの賑わいに一因となっている。今後も積極的な情報発信、イベントの実施等による利用者数の増加を期待する。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	83.5%		
	具体的な 取組と その効果	「秋田港海の祭典」や定期的なイベント(あおぞら市(フリーマーケット)、その他予約イベント等)の開催により利用者増となった。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	R4年度	R5年度	
	82.7%	83.1%	83.2%	

＜観点Ⅱ＞の評価

評価 欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	「うどんそば自販機」は継続して人気があり、砂場やすべり台などの遊具があることにより冬季や雨天時にも気軽に遊べると、お客様より好評の声が多い。
	県 (所管課)	A	安定した施設管理により、継続して高い満足度を確保している。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	光熱水費が昨年対比107.9%となっており、経費削減にはなっていない状況。
	具体的な 取組と その効果	節電・節水に取り組んでいるが、来館者数の増加もあり水道使用量が増加している。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	前年対比112.5%であり、うどんそば自販機の収入が昨対比117.9%、施設利用料のうちセリオンリスタは昨対比120.7%であった。
	具体的な 取組と その効果	道の駅あきた港全体の来館者数が増え、うどんそば自販機の売上増にも繋がった。また、イベント誘致を継続して行い、セリオンリスタの使用料増に繋がった。

＜観点Ⅲ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	支出は昨年度より増加しているが、売上が昨対比112.5%と増加している。R7年度はイベント誘致も継続して行い、施設利用件数を増やし利用料増に繋げていく。
	県 (所管課)	B	支出増とはなったが、利用者数は増加しており、自主事業のPRをより活発化させること等により、さらに収益増に期待したい。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	○人員配置 施設の管理運営に必要な人員を配置しており、サービス提供に支障は生じていない。 ○職員の資質向上 定期的に教育研修を行っている。(安全講習、マナー講習等) ○地域や関係団体等との連携 地域振興を図るため、土崎地域の秋田みなと振興会や港商友会といった関係団体と十分に連携をしている。他にも秋田商工会議所、土崎みなと歴史伝承館、土崎港曳山まつり実行委員会等と連携している。 ○安全対策 定期的に巡回をし、利用者が常に安全に利用できる状態を保っている。 ○危機管理等 事故防止マニュアル等及び緊急時連絡体制を整備している。 ○イベント 定期的にイベントを実施し、集客を図っている。

＜観点Ⅳ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	実績報告に記載のとおり、施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県 (所管課)	A	適切な管理運営を行っており、円滑に指定管理業務を遂行している。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等) セリオンリスタは天候に左右されない施設であることから、保育園等の遠足における雨天時の立寄り場所となるなど、子どもの遊び場としての需要が高く、県民の憩いの場として活用されている。また、イベント広場は各種イベントの開催場所として活用されており、秋田港の利用者増加に寄与している。
○施設運営の課題 施設の老朽化
○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等) コロナ明け着実に利用者が回復してきており、利用者満足度も継続して高い水準を維持しているなど、県民からの需要が高い施設である。今後も県民が安心して利用できるよう、施設の老朽化に伴う修繕を計画的に行っていく。

【外部有識者委員会による評価(提言):令和 年度実施】

※今年度評価対象施設は、外部有識者委員会終了後、行政経営課が記載の上で公表する。

評価(提言)
○施設の管理運営状況について(<観点Ⅰ>～<観点Ⅳ>に対するコメントを記載)
○県の施策達成に向けた施設運営について (県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方を踏まえてコメントを記載)

【外部有識者委員会による評価(提言)を踏まえた今後の対応方針:令和 年度策定】

今後の対応方針
指定管理者(施設の管理運営等について今後の対応方針を記載)
県所管課(県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針を記載)

【今後の対応方針の進捗状況について】

※今後の対応方針策定済みの施設について、策定翌年度の評価対象年度から記載

今後の対応方針の進捗状況
指定管理者(施設の管理運営等について今後の対応方針に係る進捗状況を記載)
県所管課(県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針に係る進捗状況を記載)